

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	奈良県障害者総合支援センター わかくさ愛育園		
○保護者評価実施期間	令和7年1月31日		～ 令和7年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	令和7年2月17日		～ 令和7年2月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・親子通園することにより、保護者が我が子についてより理解してもらいやすい。	・新入園児、3歳未満児は、親子保育を重視し良好な親子関係を育むことをねらいに保護者に保育、訓練等の園生活に参加していただいております。職員が保護者に対し具体的な場面で、直接支援、指導を行っています。	・ご家族の不安が軽減するよう職員が親子に寄り添い、信頼関係を更に深めていきたいと思っております。 ・職員の資質向上のため、職員研修、職員間の情報共有を高めめます。
2	・早期からの受け入れ体制がある。	・概ね1歳から入園を受け入れています。お子様の様子をご家族様と相談しながら登園日数、時間などを配慮しています。 ・小児科、小児整形外科や訓練士(PT,OT,ST)、公認心理師、保育士など多職種が連携しながら親子を支援できる体制を作っています。	・ご家族が相談しやすい場を探り、入園前からご家族の不安の解消に寄り添えるサポートを病院、地域、相談支援事業所、当園が更に情報共有しながら連携していきたいと思っております。
3	・多職種による保護者対象の研修を実施。	・訓練士(PT,OT,ST)、公認心理師、保育士など多職種の職員による保護者研修を年間7回実施しています。	・保護者にとって充実した時間になるよう職員間で研修内容を見直ししながら、より良い研修になるよう努めます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・家族と通園できない日は欠席となる。また、親子通園できなくなり退園する場合がある。	・親子通園の為、保護者が何らかの事情で親子通園できなくなると退園になってしまうケースがあります。	・毎日通園にこだわらず、各家庭で親子通園可能な日数で利用を受け入れています。 ・地域、相談支援事業所との連携を深め、レスパイトを図りたいと思っております。
2	・3歳以上児の親子分離の機会が少ない	・職員不足により、分離保育に職員の人数が確保しにくく、十分に親子分離ができる時間、機会の設定が難しい状況です。	・引き続き職員の増員に努めます。